

平成 23 年度 風の子保育園『事業計画』

風の子保育園のめざすもの（運営理念）

- ① 子ども・父母・職員の立場を大切にし、皆の財産である保育園を民主的に運営しよう！
- ② 子ども達が自然の中でのびのび育つことのできる保育園
集団の中で一人一人が大切にされ、自主性と社会性を見につけ豊かな感情と思考力の発達をめざした保育を！
- ③ 産休明けから就学まで、年齢・障害・保育時間を問わず、保育を必要とする子ども・父母の立場に立った保育の創造をめざそう！
- ④ 父母・職員・後援会・地域住民が、ひとつになって、皆でつくり皆で育て地域から愛される保育園に！
- ⑤ 保育をめぐる様々な要求を大切にし、その一つ一つを子どもと保育を必要とする父母の立場に立って、実現できる保育運動を発展させよう！

新政権への期待から失望にかわってきている中、新たな保育政策として「子ども子育て新システム」がうちだされました。これは、待機児童の解消と幼稚園・保育園の一体化を求めたものです。もし実施されると、直接契約になるため市町村の公的責任による保育の実施（最低基準の撤廃）はなくなり、保育内容の水準が低下すると思います。

この新システムの情報を保護者も巻き込みながら、多くの反対の声としてつなげていきたいと思えます。

園内においては、園児 111 名からのスタートです。子どもの受入人数は少ないのですが、仮園舎での保育になり環境が変わり不安は大きいです。職員の団結と協力のもと新園舎にむかって一丸となって乗り越えていきたいと思えます。

事業計画の概要

① 園舎の全面改築

- 補助金（交付金）が確定し（4・15 予定）、入札・業者決定

地域説明会開催予定（近隣住民に対してなるべく迷惑のかからないような配慮）

- 工事工程表（針谷建築より提案）にそって遂行。

5月連休時に引越しをし、仮園舎での保育が始まり 2 月末、3 月初旬新園舎完成予定

- 経営見通しと人件費問題

新園舎での新規職員の採用を考えた時、今後の経営について、(特に人件費問題) 短期と長期展望をもって考えていきたいと思います。昨年の成果であった計画的な研修と超過勤務については引き続き行っていきたいと思います。

② 職員の体制づくりと保育、給食の充実 (仮園舎での保育)

全体体制：園長、副園長、主任（2人）

昨年に引き続き、園舎建替えのため事務体制の強化（園長・副園長の複数体制）をはかり、保育については、現園舎、仮園舎、新園舎の3年を見越した体制をクラス主任中心に行っていきます。仮園舎での保育は、5つのお部屋のなかで0・1歳、1・2歳、2・3歳、4歳、5歳の混合保育をしていきます。保育環境が大きく変わり不安も大きいのですが、限られた環境の中で、保育者同士の伝達・連携を行いながら、子どもと保護者への負担を最小限に留めるような保育を行ってきたいと思います。（お泊り保育は少年自然の家に行きます。）

「一人ひとりの育ちを大切にしよう」を保育理念に掲げ、保育方針、保育目標を実現していくために目の前の子どもの姿と子どもの発達の姿を結びつけて考え、方向性をだすことを乳児、幼児、給食で具体的にしていきます。

③ 地域活動について

今年度は、一時預かり保育を行う部屋がないため1年間休業という形になります。

仮園舎という新しい環境の中、地域の皆さんと交流を図りながら無理のない形で地域事業を行ってきたいと思います。